

春のセツブンそばを楽しみに収穫作業 下領家自治会がそばを刈取り

REPORT 4

総領町下領家自治会が10月19日・20日、そばの刈取り作業を行いました。

同自治会では毎年、盆過ぎごろにそばの種をまき、この時期に収穫しています。

収穫日この日、地域住民16人が集まり、コンバインやかまを使って、6反余りの畑に実ったそばを手分けしながら2日間かけて刈取りました。

途中、コンバインに泥が詰まり動かなくなるというアクシデントがありましたが、皆さん談笑しながら楽しそうに作業していました。

参加者は「今年是一部いのししの被害があったが、全体としてはよくできた」と喜んでいました。

収穫された約350kgのそばは、3月の節分草まつりでセツブンそばとして振舞われる予定です。



▲楽しく作業する参加者

地域の選抜選手が熱戦を展開

第7回庄原市民健康づくりグラウンドゴルフ大会

REPORT 5

第7回庄原市民健康づくりグラウンドゴルフ大会が10月27日、総領町の田総の里スポーツ公園で開催されました。

この大会は、市民の健康づくりを目的に毎年開催されているもので、市内各地域の予選を勝ち抜いた選手が、庄原のグラウンドゴルフの頂点を目指して個人および団体で競います。

当日は、集まった総勢150人の選手が、芝生コースで熱戦を繰り広げました。

なお、大会の結果は、次のとおりです。



▲カップイン!

団体戦	男性の部	女性の部
優勝	東城上A	帝釈C
準優勝	庄原男性C	庄原女性A
第3位	庄原男性A	庄原女性E

個人戦	男性の部	女性の部
優勝	田島 豊(口和男性)	中川 種子(総領女性)
準優勝	宮脇 達郎(庄原男性A)	畑谷 萩枝(庄原女性E)
第3位	児玉 智久(東城上A)	伊藤ハルミ(帝釈C)
第4位	宮脇 孝好(庄原男性E)	西谷 睦枝(庄原女性E)
第5位	桂藤 安夫(庄原男性C)	瀬尾一二三(庄原女性A)

文化・スポーツに浸る2日間 2012高野町文化祭&健康マラソン大会

REPORT 6

市民が文化活動の成果を披露する2012高野町文化祭が11月10日・11日の2日間、上高自治振興センターと高野山村開発センターを会場に開催されました。

ステージ発表会場となった上高自治振興センターでは、田舎芝居同好会わらじ座(三次市三和町)の演劇「臉の母」が公演され、本格的な演技と華麗な衣装に観客は魅了されていました。また、楽器演奏や詩吟朗読、子ども神楽や保育所園児によるダンス発表などが行われ、会場は終始笑い声や拍手が響いていました。

隣接する高野山村開発センターでは文芸作品などが展示され、色彩豊かな生け花やフラワーアレンジメント、本格的な陶芸や書道の作品などが来場者の目を楽しませました。

せました。

11日は「第30回記念高野町健康マラソン大会」も開催され、町内外から55人が参加。この日は冷たい雨が降るあいにくの天候となりましたが、参加者はレストランの西田 学さん(元NTT西日本所属)と一緒にロードレースやジョギングの部で汗を流しました。同時に中高年の方を対象とした「ノルディックウォーキング」が高野体育館で開催され、文化・スポーツを堪能した2日間となりました。



▲ランナーと並走する西田さん(左)

人と自然の中で子どもの笑顔輝く 第12回こどもまつり

REPORT 1



▲大盛況!子ども服リサイクル広場

が高原の家七塚で行われ、同時開催の「広島県立畜産技術センター一般公開」と合わせて、約2,800人の親子連れなどでにぎわいました。

『高原に広がるこどもの時間〜時を忘れてあそぼーや!〜』をテーマに10月28日、「第12回こどもまつり」

このイベントは、子育て世代を応援しようと、市内の各団体で構成するこどもまつり実行委員会が毎年企画しています。

前日からの雨のため、一部のコーナーは実施場所を変更しての開催となりましたが、板橋一心太鼓の力強い演奏で幕開けし、子育てサークルのアトラクション、保育所の保護者や地域の方による手づくり感あふれる体験コーナーで、子どもたちは時を忘れて楽しんでいました。

企画・広報・準備・提供をすべてお母さんたちで実施した「子ども服のリサイクル広場」には、今回も多くの子育てグッズが寄せられ、たくさんの子育て家庭でにぎわっていました。

春の口和ICオープンを前にPR モーモー物産館「秋の感謝祭」

REPORT 2

口和町のモーモー物産館「秋の感謝祭」が11月10日に開催され、約500人の来館者でにぎわいました。

この感謝祭は2年に1回開催していますが、来年は中国横断自動車道尾道松江線口和インターチェンジのオープン控えていることもあり、口和町を盛り上げようと開催されました。

当日は、口和備神太鼓の演奏などのステージイベントのほか、町内の6団体が出店。行楽に訪れた観光客などが地元の新鮮野菜やモーモーアイス、本格手打ちそばなどを買い求めていました。特に、今年の口和産そば粉を

使った手打ちそばは大盛況で、用意された限定200食が瞬く間に完売しました。

モーモー物産館の江木裕幸さんは「口和インターチェンジが出来ると多くの方が口和町に来られるので、このイベントを定着させていきたい」と意欲を見せていました。



キョロやまくん大健闘。全国3位の快挙! 第7回ゆるキャラ®カップin鳥取砂丘

REPORT 3

鳥取市で10月27日・28日の2日間開催された「第7回ゆるキャラ®カップin鳥取砂丘〜オレ達はゆるくない!〜」に、庄原市観光キャラクター「キョロやまくん」が出場し、総合3位に入りました。

毎年開催されているこのゆるキャラ大運動会に、今年も12府県から70体のご当地キャラクターが集結し熱戦が繰り広げられました。キョロやまくんは、大縄を飛ばす「ゆるなわとび」、約15メートルのかけこの後ダンスを踊る「ゆるりんピック」、相撲をとる「ゆるすもう」の3種目の中から、「ゆるなわとび」と「ゆるりんピック」に出場。

「ゆるなわとび」では1回しか飛ばせませんでした。「ゆるりんピック」ではその身体に似合わないダンスが高評

価されて部門優勝。総合で3位を獲得しました。

キョロやまくんは「今回は道後山高原クロカンパークでトレーニングした成果が出たキョロ。次回は準優勝を目指すキョロ」と来年に向けて意気込んでいます。



▲なわとびするキョロやまくん

すばらしい作品がズラリと並ぶ 庄原市美術展覧会・しょうばら菊花展

REPORT 10



▲美しい作品を鑑賞する人

市民の芸術作品が集う第8回庄原市美術展覧会が11月3日～8日、14日～18日の期間、田園文化センターで開催され、工芸、書、洋画、写真など143点が展示されました。訪れた人は「どの作品もレベルが高く、見とれてしまう」と一つ一つの作品をじっくりと鑑賞していました。

11月1日～14日には庄原市民会館で第25回しょうばら菊花展が開催され、個人29人と市内の4小学校から、色とりどりの美しい菊約300鉢が出品されました。観賞に訪れた人は「菊花展の時期に合わせて、美しくそろった花を咲かせる技術が素晴らしい」と絶賛していました。

経路の途中には、古事記にも登場する飛越岩やイザナミノミコトが葬られたといわれる比婆山御陵などの名所が多数あり、参加者はブナの森に囲まれた神秘的な古道散策を楽しんでいました。



神秘の比婆山古道を散策 比和里山倶楽部が比婆山登山

REPORT 11

身近な場所でのしあわせづくりに取り組む比和里山倶楽部が10月27日、「比婆山古道の散策」と神秘の比婆山登山！」を実施し、地域住民など17人が秋の比婆山へ出かけました。

比婆山古道は、比和の越原から比婆山御陵へ抜ける約2キロメートルの参道で、60年ほど前まで木材運搬などに利用されていました。その後使われなくなり荒廃しましたが、古事記編纂1300年を迎えるにあたり、昨年6月に比婆山登山道として再整備されました。

比婆山古道から烏帽子山、大善原、南の原へと抜ける

比婆山御陵などの名所が多数あり、参加者はブナの森に囲まれた神秘的な古道散策を楽しんでいました。



▲比婆山古道の入り口

市内の文化財の保存と活用を考える 第100回広島県文化財臨地研究会

REPORT 12

文化財の保護と活用を図ることを目的にした「第100回広島県文化財臨地研究会」が10月24日、比和自然科学博物館で開催され、県内各市町から約80人が会場を訪れました。

当日は、文化庁記念物課の桂雄三さんが「天然記念物とは？—東日本大震災を越えて—」と題して講演。大震災を通して多くの貴重な文化財が失われた過去を踏まえ、「今後の文化財が地域と一体となって保存される必要がある」と提言していました。

また、午後からは自然科学博物館や慶雲寺のシラカシ林、三河内のカンナ残丘などの比和地域の文化財の見学が行われました。

参加者は「庄原市には多くの文化財が残っており、それぞれの地域で大切にされてきたことがうかがえる。ぜひ後世に残してってもらいたい」と話していました。



▲慶雲寺のシラカシ林を見学する参加者

城下町の雰囲気誘われ多くの人 東城まちなみぶらり散歩ギャラリー

REPORT 7

10月27日から11月5日までの10日間、街道東城路(東城本町筋)で「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」が開催されました。

城下町のたたずまいを残す東城のまちなみは、各家のお宝をはじめ、温もりの感じられる手作りの作品や、県内の作家による版画、燭台などが展示されるギャラリーになりました。

期間中は、伝統行事「お通り」が開催されたほか、チンドン屋がまちなみを歩くなど楽しい催しも行われ、大勢の観光客でにぎわいました。

訪れた方々は、展示されたさまざまな作品を鑑賞しな

がら、地域の人とのふれあいや交流など思い思いにまちなみ散策を楽しんでいました。



▲まちなみ散策を楽しむ人々



▲お通り

小奴可地区芸能保存会の活動が全国的評価 地域伝統芸能大賞保存継承賞を受賞

REPORT 8



▲表彰を受ける高尾覚会長(右)

国指定の重要無形民俗文化財「塩原の大山供養田植」を伝える小奴可地区芸能保存会が、財団法人地域伝統芸能活用センターが選ぶ平成24年度「地域伝統芸能大賞」7賞のうち保存継承賞を受賞しました。

小奴可地区芸能保存会は、伝承教室を開き「塩原の大山供養田植」の保存・継承と後継者育成に努めるほか、現地公開やイベントに参加して地域の伝統文化のPRを

行うなど、地域振興に貢献したことが評価されました。

その表彰式が10月27日、福島県郡山市で開催の第12回地域伝統芸能全国大会で行われ、表彰状と合わせ、高円宮妃殿下から記念メダルが授与されました。

表彰式後には同会場で、28日は会津若松市で、震災からの復興の願いを込めて「塩原の大山供養田植」の一部である「田植踊り」と「太鼓田植」を披露しました。



▲田植踊りと太鼓田植を披露

交流拠点“まちの駅”をめざして ウイル西城ふれあい市場開催

REPORT 9

西城のショッピングセンターウイル西城で10月20日、「まちの駅にぎわいフェスティバル・ウイル西城ふれあい市場」が開催され、多くの人でにぎわいました。

この催しは、地域の特長を生かし、便利で安心して生活できるにぎわいのある西城町を目指して、備北商工会西城アイデア創出事業協議会が企画・実施したものです。

ウイル西城の各店舗が日頃扱っている商品を改めてPRし、JA庄原、ひろしま県民の森、地域の加工所などさまざまな団体が、広島牛やヒバゴンネギ、道後山高原トマトなど手塩にかけた産物や加工品を販売。地元色豊かな

手づくりのもてなしが、町内外の来場者を喜ばせ、また、マグロの解体ショーも注目を集めていました。

同協議会会長の伊藤郁夫さんは「これをきっかけに、西城地域の生活基盤施設であるウイル西城を住民と来訪者が共に集い交流する“まちの駅”として、もてなしにぎわいを集積していきたい」と話していました。



▲多くの客でにぎわう会場